



子どもたちの学びを支える地域と家庭

校長 大関 正人

先日、「令和6年度 生活・学習意識調査」の結果が届きました。この調査は、新潟市内の児童生徒を対象に、生活実態や学習に対する意識を調べるものです。調査結果から見えてきた点をいくつかご紹介します。

まず、「朝食を食べています」「宿題をきちんとやっています」「宿題以外にも自主的に家で勉強しています」といった項目では、当校の児童が新潟市の平均を上回る結果を示しました。これらは、家庭でのしっかりとしたサポートと協力があってこそその成果です。心より感謝申し上げます。

「地域のこと（自然・歴史・産業など）にふれたり、調べたりする学習は好きです」「地域の大人から話やアドバイスを聞いて、分かったり、できたりすることがよくあります」といった項目にも肯定的な回答が寄せられました。子どもたちは地域の「ひと・こと・もの」から新たな知識を得るとともに、地域への理解が深まっているようです。地域とのつながりを大切にしたい学びが、子どもたちの視野を広げ、将来に向けて大きな力となることを実感しています。今後も地域に根差した学びを大切にしていきたいと考えています。

さらに、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあります」という問いに対しては、特に高学年の児童が肯定的に回答しています。社会の一員として、自分たちにできることを考え、実行に移す姿勢が見られることは、子どもたちの成長の証です。こうした思いを大切に、子どもたちが社会に積極的に関わっていく力を育てていきたいと願っています。



今年も地域からたくさん学びました

大切なのは、今回の結果だけにとらわれず、子どもたちの姿や声をしっかりと受け止めていくことだと考えています。一人ひとりの成長や学びの変化を大切に、それを教育に生かしていきたいと思っています。そのために、保護者の皆様からのアンケートや学校運営協議会のご意見も大切に、今後も皆様と共に歩いていけるよう努めてまいります。

一年間、地域の皆様や保護者の皆様には多大なご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。引き続き、子どもたちの成長を支えていただきながら、共により良い教育環境をつくり上げていければと思います。2025年もどうぞよろしくお願いいたします。